

## 第1回境港市民交流センター（仮称）管理運営計画検討委員会 議事録（要旨）

日 時：平成30年1月29日（月）午後1時30分～2時45分

場 所：境港市民会館大会議室

### 出席者 【委員会委員】

野田委員長、池淵（美津子）副委員長、増谷委員、池淵（朗拡）委員、三好委員、松本委員、足立委員、新和委員、湯越委員、安田委員、山田委員、  
（欠席：山本委員）

### 【アドバイザー】

田中アドバイザー、麻田アドバイザー

### 【事務局】

松本教育長、藤川教育委員会事務局長兼教育総務課長、黒崎生涯学習課長、北野生涯学習課課長補佐、園山建築営繕課建築指導係長、浜田生涯学習課生涯学習係長、竹内生涯学習課文化体育係長

### < 次 第 >

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 委員長及び副委員長の指名
5. 議事
  - (1) 美保飛行場周辺まちづくり基本計画及び境港市民交流センター（仮称）新築工事基本設計の概要について
  - (2) 境港市民交流センター（仮称）管理運営計画の策定について
  - (3) 管理運営計画策定に関する検討課題について
6. その他
7. 閉会

<会議録（要旨）>

◆次第1～4は省略

◆次第5 議事について

（1）美保飛行場周辺まちづくり基本計画及び境港市民交流センター（仮称）新築工事基本設計の概要について

○事務局から説明（資料P 2～17）

（以下主な意見等 ◇：質問・意見等、⇒：回答内容）

<委員長>

ご質問、ご意見等、委員の方からあればご発言をいただきたい。

アドバイザーの方、2人に参加していただいております。何か専門の立場からご意見等がございましたらお願いします。

◇（アドバイザー） これまでも基本設計のプロポーザル選定委員もさせていただいた。ホールだけではなく、図書館など他の施設もあり、違う組織と一緒に運営していくというのは、様々なことを考えていかないと上手くいかないということを実際管理している中で思います。建物と人の動きを管理する人が最初から考えていかないと、後から建物を変えたり、動線を変えたりとか、鍵の施錠の仕方一つにしても、コストがかかりますので、この管理運営の検討委員会でじっくりお話ししていただいて、進めていってほしいという気持ちがあります。

◇（委員長） これまでの関わってこられた経験を踏まえて、だいたい想定のされている方向で進んでいるとお考えでしょうか。

◇（アドバイザー） こういった会を設けて話をしていること自体は、私の思っている理想の形としますし、プロポーザルという形で設計者を選定したという経緯も非常に今の流れに沿った形であるし、効率的なやり方と感じております。

◇（アドバイザー） 図書館部分については、現有施設と比べてかなり広がる。また境港は読書推進の長い歴史があり、読み聞かせコーナーも整備しながら、公園との一体利用で市民の皆さんが集ったり、高校が近くにあるので、若い世代の方が集うような学習室も検討されています。今後は検討委員会で市民の皆さんのご意見や図書館の現場の方の話も聞きながら進んでいくと思っています。先ほど動線一つとっても、というお話もあったのですが、そのところを調整しながらより良い施設がつくっていったら、そしてこちらもお手伝いが出来たらと思っています。

◇（委員長） 通常、図書館は教育委員会、文化ホールは市長部局のように所管が違うのが普通です。そうすると複合になる場合に、いろんな想定していない、想定していても克服できない課題があっても大変ですけども、今回、ここは一体化して

いるというのが一つの特徴と思っています。次、そのハード的なメリットをいかに生かすソフトを考えていくことがポイントと思っています。それが上手くいけば、そこが売りになる施設にもなると期待しているところです。

(2) 境港市民交流センター（仮称）管理運営計画の策定について

(3) 管理運営計画策定に関する検討課題について

○事務局から説明（資料P18～20）

（以下主な意見等 ◇：質問・意見等、⇒：回答内容）

<委員長>

自己紹介をしていませんでしたので、名簿順に簡単な自己紹介をお願いします。その際に、今の説明にあまりとらわれなくていいので、自由にご発言、感想でも結構ですから一言いただけますでしょうか。

◇（委員）従来からシンプルで頑丈な建物というのと、駐車場を広く、それと女子トイレをたくさんということを要望してきました。若干、デザイン的にはちょっとどうかなという点もありますけど、大まかな点は希望を入れていただいたのかなとは思っています。また、細かい点、これからが重要だと思います。そして維持管理費について、将来負担にならないような点で、この検討委員会できちっと定めていければなど、その点が一番重要かなと思います。

◇（委員）自分が子どもの時はこういった建物では、合唱コンクールだとか文化祭とかぐらいしか使っていなかったイメージがあるので、やっぱり開館するにあたっては、毎週何か催し物があったりとか、市民の方が立ち寄りやすいイベントとかがあると交流の場につながるのかなと思います。

◇（委員）今回の管理運営計画から参加になりまして、色々資料を見させていただいて、16ページのイメージ図のところを見たときに、大会議室から横の会議室、リハーサル室の方もガラス張りでオープンになっていて、中がそんなに見えるというのは果たしていいものなのか。ある程度壁があって見えないものも必要と感じました。

◇（委員）やっぱり使いやすい、特に市の活動団体にとっては割引制度もあり、どんどん使って本当に人の出入があることが必要だと思います。各部屋も展示はもちろん、簡単な発表会、それぞれの会議室にいろいろな使い道があると思いますし、そういったことが幅広くできるように、またこういう風に使えるよというような宣言もしないといけないと思います。大きな狙いにありますように、ほとんど毎日、年末年始の休み以外は、人が使っているような施設になっていけるように考えていきたいと思っています。

◇（委員）障がいのある方もここが地域の交流の拠点であったり、文化芸術活動であ

ったり、そういったものに一緒になって交流・参画できればと思っております。大体建物の中のイメージは湧いたのですが、雨天時や積雪時に、駐車場から建物へ行くまでの動線はどうなるのか。はまる一歩バスも通ってますし、駐車場も広げたりしていろいろなところから入ってくるので動線が分からないと思ったのと、あとせっかく横に境中央公園があるので、そこと絡んで散歩道だとか安らげる空間とか、そういったものが一体となってもっと素敵になるのかなと思いました。

⇒（事務局）駐車場からの動線や雨天時の対応について、大きな屋根は駐車場には付けないですが、近くの子車椅子駐車場の2台分は屋根を付けますし、施設の周りには庇等で通路を考えており、実施設計の中で決まっていく段階でお示しさせていただきたいと思っております。あと中央公園の活用についても、すぐそばが図書交流広場になっており、図書交流広場との一体利用も検討していくこととしております。今、実施設計でドアとか図書の並びも決まってくるので、どういう活用をしていくかはわかり次第ご説明させていただきたいと思っておりますので、その件については、今検討していく段階になっておりますので、ご理解いただければと思います。

◇（委員）PTAという観点から申し上げますと、やはり小学校、特に低学年は小さいお子さんが多いですから、小さいお子さんが安全に使えるような施設というところが一番なのかなと思っております。せっかく作っていただくからには稼働も上げなければいけないということで、小学校合同とか中学校合同とかの催し物、イベントで使ってもらえるようにいろいろこちらもプランを練っていかないといけないのかなと考えています。駐車場が147台ではちょっと少ないのかなということで、臨時でも結構ですので、もう少しキャパのあるところを確保していただければなと率直に思いました。

◇（委員）私も基本構想からいろいろな経過を経て今になったことを知っておりますが、一番興味があるのはどういう形でホールができるかということで、今の形がどういう形になっていくかということをごく楽しみにしております。それともう一つは動線的にずっと話が出ておりますけれど、北から南に通路という形でなくてもよいですが、抜ける形の、避難道を兼ねるというわけではないのですが、そういうスペース的なものがあつたらいいなとずっと思ってます、それが一つの防災になるのではないのかなと思っております。

◇（委員）ずっと係らせていただきまして、私たち委員が出した提案や市民から寄せられた考えというものを大分反映していただいているように感じています。これから管理運営に関することを決めていくわけですが、建物があつてそこで人が交流するということは、どんどん人が係わっていかないといけないということです、今までホールや図書館に行ったことがない人に来ていただかないといけない。そういう人たちが来られることによって、新たな交流が生まれて賑わい生まれる。それが防災にも役立つという形になると思っております。この組織計

画の中に市民ボランティアが入っていますけれども、重要なことだと思いますし、まだまだ境港はボランティアが組織化されているわけでもないですし、足りない気がします。ホール建設と同時に人材を育てることも同時に進めていかないと、いざホールができたけれどもそれに係わる人がえらい少ない、高齢化で困ったな、みたいな感じになりそうな気がしますので、是非そういうことも合わせて管理運営計画の中に加えていただけたらなという風に考えています。

◇（委員長）管理運営の中にボランティア、ボランティアよりサポーターの方がいいと思いますけれど、もっと参画していくというイメージで、是非そういった視点で市民自身が管理運営に係わっていくことが必要ではないかなと思っていますので、今後の議論の中で、今言われたことを議論していければと思っています。

◇（委員）今回初めて、市の社協がこの施設に入らせていただくということが表明されたということで、私ども大変喜んでおります。その中で私どもの法人の携わっている事業の全てがここでできるかどうかということについて、今回、管理運営の面も含めて、特に社会福祉協議会の事業が広範囲にわたるものですから、個別の相談に応じるような部屋が必要です。それから問題なのは関係団体がものすごく多くて、障がい者の団体でも複数ありますし、高齢者のことぶきクラブなどの関係の団体、それと地区社協会長会や民生委員の会、各種の団体との打合せ会議というのも毎月あります。会議室の利用はうちだけが独占して使うわけにはいかないので、どういったときに老人福祉センターの部屋を使い、どういったときにここを使うかというのを、内部的にも調整が必要かなと思っています。あと一点問題なのが、事業の中で、例えば障がい者団体さんのクリスマス会や高齢者とか介護予防の面の体操教室をしております。全部平土間でやっており、ホールにいつも椅子があるのだったら、フラットな事業はすぐにはできないだとか、今の老人福祉センターとの棲み分けというか、こっちも使いながら向こうも使うということが常に要求されるというので、管理の面とかも含めて、これから各種団体とも相談の上、考えていかないといけないので、またいいお知恵があったら、みなさんの意見も頂きながらこちらの方で十分事業ができるような形でお願いしたいと考えております。

◇（委員）やはり基本理念であります「市民が集い、安心できる、交流と防災の拠点づくり～みんなが集まる広場のような複合施設～」これをできる限り実現していきたいなという思いでおります。複合施設ということで、先ほどもありましたけれどホール、それから図書交流広場がそれぞれ個別ではなくて、同時に使っていけるような事業計画をこれから市民活動団体の方たちと一緒にいろいろな具体的な事業計画を作っていけたらなと思います。これまでも基本計画の中で、平常時や災害時の活動、活用策というのを立ててきましたけれども、これから具体的な事業計画を立て、その中でその事業計画を運営していくためにはどういった管理運営方法がいいのかということを具体的に話し合っていけたらなと思います。

その中で私は防災の部署の担当として参加をさせていただいておりますので、災害時は必ず災害拠点としての機能を維持し、また避難所としても維持できるような視点をもって意見を言わせていただきたいなと思っていますところでは。

#### <委員長>

大体一通り自己紹介とコメントを一人ずついただきました。引き続き自由なご意見で結構ですから、何かございましたらご発言ください。

たくさんの機能が含まれようとしています。文化、それから生涯学習、防災、交流。これを横のかなり高度なテクニックというか、考え方で臨まないと空中分解するとも思います。こういう複合的なものを望むことは今とっても大事なことだと思います。どうしてかと言うと、東日本大震災のときにどういったことが起こったかと言うと、文化施設だったところが即、全部中止で、そこに防災拠点ができました。そこでただ暮らすだけだと退屈で辛いから、いろいろな文化をやっていくということがあります。なので、実は人間の生活って、ここは防災だ、ここは文化だ、ここは学習だとなっていないです。役所の組織がそうなっている。いくつかの機能を複合するというのを今進めようとするときに、市民の意識も変えていかないといけないんだけど、一番大きいのは役所の縦割りを、縦割りはなくなるといけないんだけど、複合機能ということでもうまくコーディネートしていく、調整していきながら、僕が音頭を取っていくことが必要となりますので、この管理運営計画の検討の会議は一つそのことも重要な視点になりますので、是非、委員の皆さんもこれまでの前例に捉われない新しい交流拠点、文化拠点は何かということをお考えいただきながら、前向きな意見をいただければと思います。それから社協の方がおっしゃったように、いろいろな団体にも新しい施設が使いたいというのがありますけれども、それはどういう視点かということは、施設のミッション、何のための施設ですかということを中心に定義をしていただきたいと思いますので、最終的には条例という形になっていくかもしれませんが、それを含めて新しい市民の交流拠点、防災も付くという点で、どうしていくかということも話になると思いますので、大きな視点でご議論していただければと思います。引き続きございますでしょうか。この会議は来年度一杯となっております。いつも大きなテーマを議論し、決めていかないといけないところになりますので、この後、スケジュールの話もあるかと思いますが、ぜひ皆様なりのお立場で疑問に感じられているところ、考えられているところを言っていただきながら、いい管理指針ができたかなと思います。

#### ◆次第6 その他について

- ・境港市民交流センター（仮称）管理運営計画検討委員会開催スケジュールについて
- 事務局から説明（追加資料）

(以下主な意見等 ◇：質問・意見等、⇒：回答内容)

<委員長>

簡単に書いてありますが、結構すごく具体的な中身になると思います。例えば管理運営の基本方針と言って、抽象的に聞こえるかもしれませんが、さっき私が言いましたミッションです。何をするのですか、何を目的とした施設ですかということだと思います。市民参加についても、これから高齢化が進み、人口減少が進みます。施設も老朽化するけれども、年齢構成も高齢化するという社会の中で、今までみたいなやり方が中々通用しなくなると思います。財政もだんだん厳しくなっています。その中で新しい施設の管理運営の方向性って何っていうところですね、まさに市民が考えていく時代になってきているので、ぜひそういう観点から議論をしていただければと思います。事業計画とか施設管理計画もそういう上で、どういう管理をしていこうということになります。管理運営組織についてはどこが管理運営を担うのか、これも前例に捉われずに考えたらいいと思いますので、ぜひ委員の皆さんも情報収集していただいて、この場でご紹介していただきたい。収支計画、最も大事ですけれども、常にこれを意識しながら考えるのですが、最初、垂れ流しにならないような仕組みをどうやったらできるのかということを考えていきたい。委員のおっしゃったことにありましたけれども、重要なテーマであります。今、説明のありました来年度一杯のスケジュール、結構タイトかと思いますが、これについて、ご質問とか、ご意見がありましたらお願いします。

◇(委員長)私の方から質問なんですけれども、視察先が広島県の例が出ておりますけれども、理由は何かありますか。

⇒(事務局)今、事務局の方で類似施設等を見ております。委員の方も忙しいので、なるべく日帰りで行けるところを考えたところ、三次市と東広島市に施設がありますので、提案させていただきました。また視察先については変更等も考えていきたい。

◇(委員長)人口規模とか建設年次とか、施設内容とかあろうかと思うので、今事務局の案なので、委員の皆さんからもここがいいんじゃないというのがあれば、気軽に事務局の方に言っていただければと思います。全体で見に行くのはいいのですが、個別に見に行くというのものもあるかもしれませんので、そういうのも含めて、よりいいものができたらなと思います。今、基本設計まで終わっていますから、ハードの大きな変更はないと思いますので、そういう運営の所で参考になると思いますので、ぜひ委員の皆さんからも情報提供をお願いしたいと思います。こういうスケジュールですが、いかがでしょうか。

◇(委員)スケジュールはこのように進むのだと思いますが、市民に対してのワークショップ開催とかありますが、常時広報していかないとまだまだ市民の認識は浅

いですし、よそ事という雰囲気は漂っています。現在でも市報とかいろんなところで広報はしておられますけれども、まだまだ足りないなという気がしますので、進捗状況や何か機運を盛り上げるような内容の広報などを考えていただいて、どんどん市民に来年度1年間かけて、さらに市民の方が知ることになるような方策を何とかお願いしたいなと思います。

- ◇（委員長）市民がまだまだ知らないという話ではちょっとまずいかなと思います。毎月やったらいいと思います。どんな機能があったらいいとか、これだったら自分たち責任もってできるよとか、どんどん言える場が必要と思います。できた後にやったらいいのではという話もありますが、できる前からソフトを同時に走らせていくということで、参加した市民は当事者意識を持ちますし、自分たちの施設と考えますので、定期的に毎月ぐらい開催すると決めるのもありかなと思います。あまり固く中身を決めすぎないといいのかなと思います。次回以降、市民をどう参加させるかという大きいテーマがありますので、周知の次にいろいろな提案、さらに言うと管理運営にも係わってくる。ここではボランティアという言い方をしていますが、サポーター、そういう係わる人たちをいかに増やしていくのが非常に大事だと思います。ワークショップなどをやっていくことになると、中々大変かもしれませんが、是非せつかくこういう新しい拠点ができるということになりますので、出来たら10年、20年そこが市民の交流拠点として機能していく責任もあろうかと思しますので、引き続きご協力いただければなと思います。では今日はこれで終わります。ありがとうございました。